



現場で活躍する女性達

このコーナーは、月に1回、現場で活躍する女性に業務内容や仕事に対するやりがい、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



日鉄住金物流株式会社

基地陸運本部 陸運企画管理部

梶原 未生さん

PROFILE

2013年入社。兵庫県出身。入社後3年半、日鉄住金物流君津(株)でデリバリー業務（製鉄所で作られた鉄鋼製品の納入依頼の受付～輸送部門への出荷指示）や、構外物流関連の実績管理・操業改善等経験後、2016年10月より現部署に異動。就職活動時、社会において重要な橋渡しの役割を担う物流に興味を持ち、その中でも重量物を取り扱うダイナミックさに惹かれて当社に入社。休日は学生時代から続けているバドミントンでリフレッシュしています。

～担当業務について教えてください～

新日鐵住金(株)の製鉄所で作られた製品は主に、海上輸送と陸上輸送でお客様まで届けられますが、私が所属する基地陸運本部では、国内の中継基地（製鉄所から船で運ばれてきた鉄鋼製品をお客様に届けるまでの間一時的に保管しておく場所）および陸上輸送に関する全社的な企画管理業務を行っており、安定かつ効率的な輸送体制の構築に取り組んでいます。その中でも私は、全国の陸運に関する実績管理や企画業務を担当しており、地域間車両有効活用による運行効率の向上や、乗務員の採用・育成支援制度の検討等を行なっています。幅広い知識が必要となり大変なことも多いですが、周囲に支えてもらいながら日々業務に励んでいます。

～仕事に対するやりがい～

物流の仕事は多くの人と関わりながら進めることがほとんどであり、特に現場とのコミュニケーションは日々の業務に欠かせません。デリバリー業務を担当していた際、お客様からの急な納入依頼に対し、車両手配が間に合わない状況の中、現場に無理を言ってなんとか対応してもらっていたことがありました。最初は無茶なお願いばかりで困した顔で対応していた現場ですが、何度も足を運び、コミュニケーションを図っていくうちに、「梶原さんの頼みならなんとか頑張ってみよう」と応えてくれるようになった時は、現場との距離が縮まったと感じられ、モチベーションが上がりました。

また、無事納入が完了し、お客様から「ありがとう」の言葉が聞けた時には、お客様とも信頼関係が強くなったと感じられますし、「次回も頑張ろう」という気持ちになります。

～今後の抱負や目標について～

実際に汗水流して働くのは現場です。現場が安全・安心、かつ効率的に作業できるようにしっかりと現場の実態を把握したうえで改善の余地を見極め、効果的な改善策を見出せるようになるのが目標です。

また、現在当社グループでは協力会社も含めて1,557名の乗務員が在籍しており、そのうち数名の女性乗務員が活躍しています。市場では乗務員不足が懸念されている中、今後更に女性乗務員を増やし活躍してもらうべく、職場環境の改善（アメティの整備等）や作業負荷軽減策の考案、勤務時間のフレキシブル制等を検討しています。自身で考えた施策での女性乗務員の採用を目指し、これからも業務に邁進したいと思います。

